

首都圏外郭放水路

施設管理者 : 国土交通省関東地方整備局

施設所在地 : 千葉県野田市宮崎 134

調査見学時期 : 平成 10 年 3 月 4 日

施設概要

首都圏外郭放水路は、その地形特性から慢性的浸水地域となっている中川、綾瀬川流域の浸水被害を解消するための地下放水路トンネルである。放水路は、国道 16 号の地下約 50m、断面形状は内径 10m で建設され、埼玉県春日部市の大落古利根川から埼玉県北葛飾郡の江戸川に至る延長約 6.3km の地下放水路である。流量計画としては中川から 25m³/s、倉松川から 100m³/s、大落古利根川から 85m³/s、綾瀬川から 70m³/s の洪水を流入させ、江戸川に最大 270m³/s を放流するものである。

大深度・大口径シールドマシンを用いてトンネルの施工を行っているが、一次覆工のみで永久覆工としていることと、セグメントの自動搬送、全自動組立を採用していることが特徴である。

工事諸元：

シールド工法：泥水式シールド

シールド外径：φ 12.14m

掘進延長：1,920m（当工区）

平均土被り：50m

最小曲率半径：250m

勾配：上り 0.2%

